

防災士^(※1)の組織化を図れ



小林 一幸



町長

ネットワークづくりを行う

質問 町は防災対策の充実のため、自主防災組織などの地域防災活動を支援していくとされている。町内の防災士資格を持つ方を組織化し、地域防災活動に協力してもらえよう支援できないか。

答弁 町長 町内には16名の防災士がおり、今後もさらに増えていくものと考えている。新年度には、防災士相互の連携・協力を図るための会議を開催し、ネットワークづくりを行い、町や自主防災組織との連携を図っていききたい。

地域貢献活動に表彰を

質問 町はボランティア活動等の地域貢献活動をしている団体や個人に対し、表彰などを行っているか。

答弁 町長 自治功労者等表彰規定の中に善行表彰が規定されている。地域貢献にかかわっている方を町として表彰することは、活

動を知ってもらい、参加してもらう機会にもなると思うので検討していききたい。

質問 企業などの社会貢献活動への支援はどうか。

答弁 町長 支援を必要としている団体と社会貢献活動を行おうとしている企業等をつなげたり、企業等が行う地域との連携を目的としたイベントの広報活動などへの協力も役目の一つと考えている。

地域おこし協力隊の役割は

質問 地域おこし協力隊の取り組みや、町として求めていることは何か。

答弁 町長 SNSによる町の観光・物産などの情報発信や町内で埋もれている観光資源の掘り起こしなどを行い、将来の観光ツアー誘致に向けた活動を行っている。

答弁 企画課長 その他の活動では、道の駅玉村宿での



住民活動サポートセンターぱるのスタッフと地域おこし協力隊

※1「防災士とは」
救命救急講習など一定の知識・技能の修得により、日本防災士機構が認証する民間資格。地域での防災力を高める活動が期待される。

歳入確保の施策を確実に進めよ



三友美恵子



町長

未来への投資を着実にを行う

質問 平成31年度予算編成で一番の「選択と集中」は。

答弁 町長 一つに絞るのは難しいが、未来への投資を着実に高崎玉村スマートIC周辺まちづくり事業新産業団地整備計画である。

町の新たな玄関口となったこの地域に、産業団地としての拠点づくりを行うことで、雇用の拡大や産業振興による地域経済の活性化を図るとともに、安定した税財源の確保により、財政健全化の道筋を確かなものにしていて考えている。

質問 早期開発に向けた取り組みは。

答弁 町長 測量や境界確認、土地評価、都市計画道路の見直しなどを行い、平成32年度の市街化編入を目指していく。

玉村町都市計画マスタープランの見直しは

質問 高崎玉村スマートIC周辺開発後の新たな市街化

編入の道筋は。

答弁 町長 市街化編入を検討するには、市町村はもとより、県の都市計画マスタープランに位置づけられていることが必要となる。また、新たな開発については、町の将来像を見据えながら研究する必要がある。



道の駅玉村宿北側整備計画地周辺

質問 新橋建設の見込みは。

答弁 町長 県東南部地域連絡道路・新橋建設促進協議会による県知事要望を引き続き実施する。また、県や前橋市との勉強会を行い「はばたけ群馬・県土整備プラン」の主要事業に位置づけられるよう活動していく。

質問 都市計画マスタープランの達成状況と改定時期は。

答弁 町長 目標年次は2030年であり、6、7割の達成状況である。改定時期については、第6次総合計画の策定に合わせて研究していく。

認知症・健康サポーターへの支援は

質問 サポーターへの活動支援は。

答弁 町長 地域での活動に高い関心のある方々であり、活躍していただけるよう取り組みを進めていく。

質問 サポーターの組織化はできているのか。

答弁 健康福祉課長 現状、町ではサポーターの組織化は行われていない。

こんな質問もしています

・児童虐待防止対策について